

スイカズラ科

ヤマヒョウタンボク

Lonicera mochidzukiana Makino var. *nomurana* (Makino) Nakai

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

■ 県内分布

阪神、西播磨

■ 国内分布

本州(東海以西)、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性	
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布	
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界	
		希少	○

詳細は非公開

■ 特記事項

阪神の1ヶ所で新たに生育が確認された。西播磨の1ヶ所と合わせて県内では2ヶ所に現存している。

■ 保護上の留意点

生育地の保全が重要である。



写真提供:小林禮樹

■ 種の概要

標高400-1,300mの山地に点在し、ときに石灰岩地や蛇紋岩地にみられる。葉は円卵形から長楕円形、長さ1-5(-6)cmになり、幅0.8-3(4.5)cm、先はあまりとがらない。花冠は長さ8-10mm。ニッコウヒョウタンボクとすみ分けているが、ときにやや中間の形がみられる。